

令和6年度 福光グリーンホーム 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人ハンドブックが職員全員に配布されており、ユニット会議等で勉強会や利用者ケアの向かうべき方向性で活用している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内のちいき食堂「One ぱくキッチン」や地域で開催されているふれあいいきいきサロン等への参加を予定している。	前年に課題としてあった地域とのつきあいについて、法人内の子ども食堂「わんぱくキッチン」への参加、長良西校区のふれあいいきいきサロンへの参加が今年度実現できた。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	行政、自治会長、班長、民生委員、日赤奉仕団、包括、家族代表、利用者代表等の意見を取り入れながら改善している。	毎回運営推進会議でご意見を頂きながら、少しでも改善が出来るよう務めた。今年度は地域とのつながりの強化という課題に対してサロン等への参加が実現できた。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	必要に応じて連絡をしながら迅速な解決に努めている。行政機関とのネットワークは出来ている。	地域包括支援センターや介護保険課などと顔の見える関係が出来ている。(意見)連携はできていると思う。サロン等の活動を増やしていくので情報をお伝えさせて頂く。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回は研修会を実施し、身体拘束等適正化に関する指針を整備、3ヶ月ごとに身体拘束適正委員会を開催している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	特に意見無し
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回の研修会を実施し、高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会で、法人内でも他事業所での事案について情報共有を図っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	特に意見無し
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在、対象になる利用者がいないこともあり、学ぶ機会を持つことができていない。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約には理解・納得をして署名・捺印をしていただいている。家族が疑問に思われたことは、その度に説明させていただいている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者や家族等の要望を聞きながら日常生活の過ごし方や運営に反映できるように検討し、提案できるように努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個人を尊重された運営をされている
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員とのコミュニケーションを大切に捉え、風通しの良い組織を目指している。個人同士がつながっているツール（ラインワークス）なども活用し、意見や提案を共有している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	業績評価シート・目標管理シートを用いて個々の目標を設定し、面談を行い、管理者や職員のやりがいに繋がるような職場環境・条件整備に努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	特に意見無し
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内外の研修受講や研修制度を設けながら、誰もがスキルアップがしていけるような環境整備を行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	特に意見無し
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内での留学制度を活用し、他部署の介護職員との交流する機会がある。また、法人内での委員会や勉強会等への参加を通じて他部署の職員との交流の機会も出来ている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	それぞれのできることできないことをアセスメントしながら、共同生活の中で共助の関係性ができるように努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の思いを聞いたり、生活歴などからできる範囲内で馴染みの場所や人に会う機会を設けている。	入居前に近所に住んでみえた方が面会に来ていただくなど出来ている。ホームの中だけでコミュニティや関係性が完結してしまわないよう意識をもって支援をしている。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の関わりの中で、思いの傾聴やアセスメントシートによる聞き取りで把握するように務めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	サービス担当者会議の前に本人、家族の意向を聞く機会を設けた上でサービス担当者会議を行い、その内容を反映させ介護計画を作成している。	介護計画の作成の際には、本人や家族の意見を反映させるだけでなく、リハビリの観点や医療の観点からも現状に即した計画となるように意識している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各々に応じたケアをされていると感ぜられる
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の日々の暮らしで得た気づきや情報はケース記録や申し送りを活用し職員間で情報共有し、ケアプランに活かしている		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	特に意見無し
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人、家族の状況やニーズの変化をその都度把握し、その時々に必要なサービスを提供している。	管理栄養士に栄養の会議に参加してもらうことやPT、OTに本人の状態を見てもらうことで健康管理の面で多職種との関わりにて暮らしを支えることが出来ている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域資源の把握、活用について細かな部分まではできていないが、行事で地域の公園を活用したり、児童センターと交流したり出来ている。	長良児童センター、中部学院大学付属幼稚園、あしたの会、などの機関と関わりを持つことが出来ており、秋まつりに参加して頂いたりと交流することができた。(意見)コロナ前のようにボランティアによる関わりが増えたらいい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に今までのかかりつけ医に引き続き受診いただくことが望ましいとお伝えしながら、ご希望があればかかりつけ医の変更などの相談を受けている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時は医療連携室や看護師に介護サマリーでの情報提供をし、施設内の状況を分かりやすく伝えるように報告している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	特に意見無し

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者会議で定期的に状態の報告、入居者の状況の変化によっては必要時に話し合いの場を作っている。医療職に相談の上、ここでできる支援に取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に意見無し
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会や研修で定期的に学んでいる。訓練は定期ではできていないが、事故発生時は看護師に対応を確認しながら実践している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の避難訓練、年1回の水害訓練、災害時想定BCP訓練を実施しているが、地域との訓練は行っていない。	避難訓練や水害訓練は行っているが、地域の協力体制を得ていく為に訓練の実施案内を地域に発信するなどして関係性を構築していけるといい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害シミュレーションをする中で地域住民も参加できるシステム作りも検討できるといい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	1人ひとりを尊重した声かけや対応に心がけている。利用者は人生の先輩であることの尊敬の念を常に持ち対応するよう心がけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に意見無し
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の意向に沿って支援をしているが、応えられない場合は他の意向を傾聴し希望に添えるよう対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者一人ひとりのできること得意なことを見極め、配膳や盛り付け等と一緒にやっている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に意見無し
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の病状に合わせた水分摂取量や食の嗜好に合わせた食事を提供することで確保している。必要時は管理栄養士に相談をし、助言を頂いている			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の口腔ケアの声かけや介助を行っている。必要な人には毎月の歯科訪問診療で相談を行っている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に意見無し
	31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄シートで記録をし状況を把握している。自立の方はご本人の習慣に合わせ、誘導が必要な方には適時に誘導。便秘の方は看護師に相談しながら下剤を使用し、個々に合わせ対応している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に意見無し
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要望がある方にはその方のタイミングや日程に合わせて、気分よく入浴して頂いている。対応が可能な範囲で時間帯はその都度対応している			
	33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中、夜間とも入居者の習慣に合わせて休みたいペースで支援している		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の服薬情報は毎月新しく更新し、変更があれば情報共有しその都度理解している。症状や身体的変化がある時は医師と訪問看護と連携を取り支援している		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に意見無し
	35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	余暇活動など、個々の能力や興味に合わせたものを用意し、取り組んでもらっている。	手先が器用な方には編み物や折り紙などを提供し、自宅で行っていた家事に合わせお盆ふきや、食事の盛り付け、配膳、食器洗いなど、利用者のできることを本人の役割として取り組んで頂いている。	
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者に行きたい所や食べたい物等の希望を聞き取り、感染対策をしっかりと行った上でランチやドライブへ、日にちを決め外出できるよう、計画を立て支援している。	行事としての外出として公園やドライブなどに行けるように支援している。他にも散歩や買い物などの日常的な外出の支援も行っている。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本必要時に家族様に持って来て頂き、管理をお願いしている。本人の希望がある時には家族にも確認しながら支援している。施設の立替ではあるが、一緒に買い物に行くこともある。				
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の了承を得られている入居者には電話をして頂いている。携帯電話を持っておられ、自由に電話をされる方もみえる。				
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、入居者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人に応じた居室環境づくりを心がけ安全に自身で動きやすいように支援したり、入居者同士の相性も見ながら席配置を行っている。季節感を味わえるような飾りを入居者様と一緒に作っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体面でも良い環境を整えられていると思う	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(入居者一人ひとりの確認項目)					IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(入居者一人ひとりの確認項目)			
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の希望や思いを傾聴し、できるだけ意向に添えるように支援している				
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができます	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の生活歴や習慣を家族や本人から聞き取り、できることを日々の生活に取り入れ行えるよう支援している				
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができます	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝バイタル測定や日々の入居者の状況を観察し、特変時は各専門職に意見を聞きながら体調管理はできている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に意見無し	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家での習慣が続けて行え、自身の生活ペースに合わせ生活ができるよう環境作りを行っている				

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居当初から馴染みの家具を持ってきて頂いている。話の聞き取りの中で、自身の馴染みの物がある場合はその都度家族に依頼している		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	特に意見無し
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全ての希望に沿って様々な活動や出かけることが出来ているわけではなく、本人の意向を確認し、安全に外出できる時に外出して頂いている。	お手伝いポイントカードを実施し、フロア内でのお手伝いをする事でポイントが溜まり、一定のポイントまで達すると本人がしたいこと、行きたい場所へ一緒に行くという取り組みを行っている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人のできる事できない事を把握し、できない事は一緒に行い出来たときの喜びなどが感じられるように支援するように心がけ、できている			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人の好きなことや得意なことが活かせる環境を提供し、そして馴染みの方との会話の時間を作り、楽しさを感じられるように支援している		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	特に意見無し
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	感染対策をしっかり行い、お祭りや行事を行うことで交流する機会を提供している。	秋まつりや園児との交流の機会を通して実現できている。(意見)イベントの頻度がどのくらいされているのか分からない。1年を通してイベントや外出を「いつ」「どこで」やったのか分かれると良い。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者が笑顔でお話しし、声を出し笑ったり。時には穏やかにすごし、他者との関わりながら良い表情をして生活を送れている		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者さんに合った対応をされていると感じられる ・いつもお世話になり感謝しております

目標達成計画

作成日: 令和 7年 2月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	＜権利擁護に関する制度の理解と活用＞ 現状、成年後見人や日常生活自立支援事業の支援員などに関わりがなく、具体的なイメージが持てないことや、学ぶ機会がなく制度の理解がされづらい。	職員1人1人が権利擁護に関する制度の理解だけでなく、人権を尊重する意識が持てるようになる。	年間の研修計画に権利擁護に関する項目を入れ、ユニット会議内で勉強会を実施する。	3ヶ月
2	35	＜役割、楽しみごとの支援＞ 利用者1人1人が何らかの役割を持ち、いつまでも社会との関わりを持って生活が送れることがあるべき姿であるが、現在は全ての利用者が役割を持っているわけではない。	全利用者が、自身の役割を持つか自身の楽しみに取り組める状況になる。	本人や家族との日々のコミュニケーションによりニーズや生活歴を再度確認し、ケアカンファレンスの中で職員による話し合いを行う。話し合いの結果で、役割や楽しみを視覚化できるように表に落とし込み、職員が提供出来る体制をつくる。	12ヶ月
3					12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。